

平成 26 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

【日 時】平成 26 年 7 月 29 日（火） 15：00～17:00

【場 所】琉球大学医学部附属病院 3 階 がんセンター

【参加者】 5 名：長井裕（琉大病院産婦人科）、松野和彦（那覇市立病院）、
増田昌人（琉大病院がんセンター）、大湾盛治（患者の立場の者）、
兼城研（沖縄県保健医療政策課）

【欠席者】 5 名：高橋慶行（県立中部病院）、奥平忠寛（県立宮古病院）、
山本孝夫（県立八重山病院）、赤松道成（北部地域医師会病院）、
又吉美奈子（沖縄県教育庁）

【陪席者】 1 名：井上 亜紀（琉大病院がんセンター）

【報告事項】

1. 平成 26 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨

資料 1 に基づき、平成 26 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会議事要旨が承認された。

2. 【施策 2】がん検診啓発活動(ポスターコンテスト)の企画について

資料 2 に基づき、松野副部長より、今年度も、第 4 回目のがん検診啓発ポスターデザインコンテストを実施するとの報告があった。長井部長より、選定方法や表彰についての確認があり、11 月の協議会を予備審査として、委員の皆さんにお好きなポスターを 3 つ(1 作品、各 1 点とする)選んでいただき、上位 3 作品を最終審査の候補として、12 月の第 3 回普及啓発部会の際の最終審査に加えることが承認された。部会において部会委員の協議により、最優秀賞・優秀賞・アイデア賞を決定し、来年 2 月の協議会にて表彰式を行うことが了承された。

3. 【施策 4】学校教育機関または PTA を媒体としたがん啓発活動について

資料 3 に基づき、松野副部長より、①県立高等学校保健体育主任等研究協議会 {平成 26 年 4 月 30 日(水)} は、がんセンター長の増田委員を講師として、「学校現場におけるがん教育について」のテーマで講義を行ったが、講演会が参考になった・大変参考になったという感想が 90%以上もあり、教職員の皆さんにも学校教育においてもがん教育が必要であるとの認識が芽生えてきていると思われるとの報告があった。

増田委員より、高校の保健体育では、生活習慣病(がんの予防)、薬物乱用、タバコの項目ががんに関連してバラバラで教科書に掲載されており、「がん」として一つにまとめて理解されているわけではなく分断されての理解なので、ひとくくりにしてまとめて授業するのが大変であることや、学校の先生方が生活習慣を変えれば・タバコや薬物をやらなければ・飲酒をしなければ、がんは予防が可能であると考えていたところ、増田委員の講演の中で、がんの最大のリスクが老化であること、タバコを吸わなければがんにならないというわけではないということ、学校教職員の先生方に理解いただくのが難しいことが報告された。

②養護教諭 5 年経験者研修 {平成 26 年 8 月 14 日(木)} について、増田委員より報告があり、増田委員と琉大病院骨髄センター長の百名先生を講師として、「がんの総論」及び「小児がんについて」のテーマで、生活習慣病などいわゆる保健がらみの部分・小児がん罹患している子の対応などをテーマにした講義を行う予定であると周知があった。地域ネットワーク部会の小児がんネットワークの活用や、昨年度の研修会で要望の

あった養護教諭と小児科医との連携作りなどを百名先生にご相談しつつ進めていきたいとの周知もなされた。

長井部会長からの学校現場の学内での連携はどうかとの質問に、学校内の校長・教頭・養護教諭・学年主任・担任の連携は取れているが、学外（他の学校、病院など）とのネットワークがないようで、小児科医と養護教諭とのネットワークを求められていること、相談支援部会で作成した小児がん相談マニュアルを配布し活用方法のミニレクチャーを作成ワーキング長の永吉さんにしていただくことも週周知された。長井部会長や増田委員から、年に数回でも養護教諭と小児科医の情報交換会などを開催するなどを教育センターなどで計画してはどうか、教育の現場なので、いじめが起きないように配慮も必要であることなどの意見交換があった。

長井部会長より、ご父母を亡くした高校生の困っているというような事例が、県に届いているかの質問に対し、兼城委員からは今年度はまだ聞いたことはないとの回答があり、増田委員から厚労省や文科省のがん教育が動き出したばかりなので事例として届いていない状況だろうとの意見があった。

4. 【施策7】がん征圧キャンペーンラジオ番組について

資料4に基づき、長井部会長より、ROK ラジオ沖縄に毎年ご協力いただいて今年で4回目となるがん征圧キャンペーンを行う予定であることが報告された。パーソナリティー玉城美香さんの「チャットステーションL」という特別番組に、医師のお立場として、松野副部長にゲスト出演いただくことに決定しており、松野副部長から本人だけでなくご家族からもタバコをやめるよう話してもらおうアピールをしたり、「緩やかな自殺」「緩やかな他殺」などのキーワードも盛り込んだりして話を進めていくとの提案が了承された。

【協議事項】

1. 平成26年度の行動計画について

【施策1】メディアセミナーの開催

増田委員より、11/8に予定をしているが、メディア側は沖縄タイムス社・琉球新報社とも社会部の担当がひとりのために参加者集めが非常に難しい状況があるとの報告があった。長井部会長からの開催の周知方法はどうなっているかの質問には、増田委員より、各新聞社の社会部宛てでは参加者は少なく、個人宛てメールや電話などでお知らせした時は参加者が多かったので、周知方法を検討したいとの回答があった。国立がんセンターのメディアセミナーは会員制で、今年度はメディアセミナーアドバンスとして開催されているが、参加者は全国紙の記者よりも、医療系出版社の方が増えている現状があり、メディアドクターは会費を払えばだれでも参加できるが、メディアドクターも以前より少し活気が落ちている感がある。

長井部会長より、沖縄県内の新聞・テレビに、題材とされる医療記事の「世界で初めてマウスで発見された〇〇〇」といったニュースよりも、地元で根差した「琉大病院の〇〇科は●●が得意です」という地元でも頑張っているという記事を、1週間に1本くらい

「沖縄県内の医療の情報」として掲載の依頼をするとか、メディア向けの公開講座も大切であるが、拠点病院の得意な分野・開業医の得意な分野を持ち回りで掲載して、臨床のいい情報をエンドポイントとして掲載することはどうか？との提案があった。増田委員より、国立がんセンターのメディアセミナーやメディアドクター研究会にはその意識はないので、部会としては名称を変えて「医療者側からの情報提供会」とするとかはどうかとの

意見があった。国立がんセンターのメディアセミナーはシリーズ化しており、医療の報道の意味をちゃんと理解した上で報道し、万能な薬剤が発見された等をそのまま書かないでくほしいということがメディアセミナーの発端になっており、メディアドクターは記事の評価であるとの説明があった。

長井部会長より、普及啓発部会の事業として、拠点病院関連病院のがん診療を行っている医師の中から、良い治療や新しい医療の発表会としてメディア向けに開催するしてはどうかとの意見、松野副部会長からは、民間治療・重粒子線治療についての十分な告知もマスコミに流してほしいとの意見、増田委員より、県医師会が2ヶ月ごとに医療情報をマスコミに告知しているが、がんに特化はしていない等の情報提供があった。

事業内容の(1)メディア関係者を対象としたセミナーを開催する、(2)一般市民に正しいがん情報を発信する、ことに基づき、がんの新薬や新しい治療法などの、正確で吟味された情報を定期的に県内の新聞社2社に提供するのは有意義であるし、これらを沖縄タイムスの儀間さんにも相談し、内容を検討していくことで了承された。

【施策3,4,5】学校教育機関またはPTAを媒体としてがん啓発活動(1),(2),(3)

学校PTA向け講演会の開催とアンケート調査の実施においては、事務方が島尻地区や南風原町内のPTA連合会に提案したが、具体的な話に至らなかったため追ってどうなったかを報告するとの周知があった。

がんについての副読本の作成については、著作権などがからみ部会としての作成が難しいことなどが協議され、国(国立がんセンター、厚生労働省)の副読本が完成し配布されたら、それらの活用を啓発していくことで了承された。

児童・生徒に対してのがんに対する授業については、長井部会長より、学校教育の中の総合の時間を頂いて、「体験者」+「医療者」+「質疑応答」をワンセットにした講演の案内文書を、各市町村教育委員会へ投げかけてご希望の学校はお声かけしていただけないかといった広報を行いニーズの把握をしてはどうかという意見が出され、了承された。

【施策6】離島におけるがんに対する講演会の開催

増田委員より、沖縄県地域統括相談支援センターで、宮古・八重山地区の地元の患者さんへの支援を行うため、地元のがん患者さんのニーズを調査しており、がん患者さんの行動変容を伴うような事業を、部会事業とからめて検討していきたいとの報告があった。

【施策8】一般向け講演者リストの公開、更新

事務方より、6月に講演者リストの調査票を拠点病院・支援病院へ送付済みで、現在回収中であるので、追ってリストを作成し協議会HPへアップする予定であるとの進捗報告があった。

【施策9】専門的病院におけるがん種ごとの担当医の公開

事務方より、6月に相談支援部会のセカンドオピニオンリスト調査票とともに、拠点病院・支援病院・がん診療専門病院へ調査票を送付済みなので、追ってリストを作成し協議会HPへアップする予定であるとの進捗報告があった。

【施策10】 職場でのがん検診に対する理解・普及啓発

増田委員より、経営者協会・商工会への声かけがまだできていないとの進捗報告があり、松野副部長より、引き続き声かけをお願いしたいとの依頼があった。

2. 次回、第2回 普及啓発部会 開催日について

第1候補日：12月2日(火)15:00～

第2候補日：12月9日(火)15:00～

第3候補日：11月25日(火)15:00～

*兼城委員より12月は県議会の予定があるとのことだったので、追って日程調整をすることになった。